

時間学
公開学術
シンポジウム
2017

多様な窓から こころを覗く

— 脳機能、脳構造、心理学から見えてくる心の時空間 —

近年、脳の活動や構造を可視する技術が発展し、生きている脳の活動や構造を観察することが可能となりました。このような最先端技術はこころの理解に何をもたらすのでしょうか。

一方、こころを研究する学問である心理学は目まぐるしく発展する周辺諸科学の中で、こころの理解にどのような役割を担えるのでしょうか。

脳機能、脳構造、心理学の新進気鋭の研究者による講演を通して、多種多様な窓からこころの時空間を覗いてみましょう。

2017. **6/10** **土**

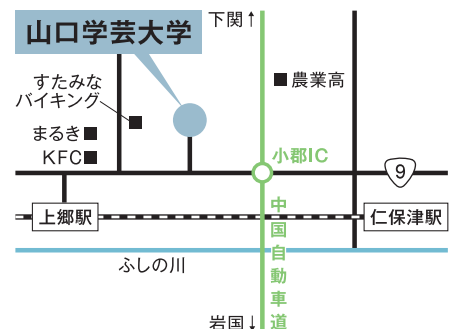
14:00 — 17:00 (開場13:30)

山口学芸大学 A棟4F大講義室

(山口県山口市小郡みらい町1丁目7番1号)

参加無料
《予約不要》

定員
240名



天野 薫 先生 (情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 主任研究員)
【脳活動を操作して視覚的な意識体験を生み出す脳内メカニズムに迫る】

講師 **竹村 浩昌** 先生 (日本学術振興会 特別研究員 (SPD) 情報通信研究機構 脳情報通信融合研究センター 特別研究員)
【白質から分かる脳とこころの仕組み】

寺尾 将彦 先生 (山口大学 時間学研究所 助教)
【心理学から見えてくるこころの時空間】

主催 山口大学時間学研究所

共催 日本時間学会

後援 山口市、山口学芸大学、山口芸術短期大学

お問合せ 山口大学時間学研究所 tel 083-933-5848 E-mail jikann@yamaguchi-u.ac.jp HP <http://www.rits.yamaguchi-u.ac.jp>

